

校長だより あおすげ

令和5年4月17日号

校長 竹内 重幸

11日（火）の入学式は、4年ぶりに6年生が参加しての実施となりました。換気徹底のため、窓を開放した会場となりましたが、春の陽気の中、体育館の窓からは、青空が見える会場での式となりました。コロナ禍の出口の中で、78名の新入生の入場する姿や一人一人の返事は、大いなる希望だと感じました。



入学式終了後に、保護者の皆様に直接話をすることができました。要約すると以下の3点です。

- ① 家庭と学校は、お子さんの成長を支えていくパートナーです。
- ② 感染拡大防止については、保護者の協力が不可欠です。丁寧な健康観察をお願いします。また、お子さんの体調がすぐれないときは、学校から連絡をさせていただきます。
- ③ お子さんの帰宅後は「楽しかったこと」「頑張ったこと」をたくさん聞いてください。褒めるチャンスが生まれます。このやりとりは、自尊感情や自己肯定感を高めることにつながります。もし、お子さんがSOSを発信したときは、共感的に受け止め学校にご連絡ください。愛校心や所属感、安心感にもつながり、児童の成長に大切なものです。学校批判や担任批判の前に学校に連絡ください。共に解決していきます。

12日（水）の登校時間に、校門に立っていると、入学式の約束を守って「おはようございます。」と明るい挨拶が響きました。とても微笑ましい光景でした。また、1年生の手を引いたり、ゆっくり寄り添って歩いて登校したりする2年生から6年生の姿も多く見られ、優しい心が行動になって見えてきた素敵な瞬間でした。

登下校の時に児童の安全を見守っていただいているスクールガードボランティアの皆様、社会福祉協議会やPTA、おやじの会の皆様、ありがとうございます。そして、今年もよろしくをお願いします。

実は、入学式の式辞と始業式の校長先生の話（4月6日）では、同じ内容の話をしています。青菅小学校の合言葉「あおすげ」についてです。この合言葉は、学校教育目標の「か

菅っ子の合言葉 あおすげ

- あ** あかるい あいさつができる子
- お** おもいやりのある子（怒・感謝）
おうえんする子 おうえんされる子
- す** すすんで学ぶ子
- げ** げんきに運動する子

しこい子の育成」の具体的な子供の姿になります。すべての教育活動を通して、「あおすげ」を目指していきたいと考えています。合言葉「あおすげ」は、昨年度の卒業生が、学校に残したいもの・伝統として、5年生との引継ぎ式に取り上げてくれたものです。そして、6年生で正門から見える「あおすげ」の看板を作成するプロジェクトを編成し、新しいものに作り変えてくれました。新しくなった「あおすげ」には、卒業生の思いが詰まっています。正門から入ってきたときに、まず目に付く看板です。大切に引き継いでいきたいという思いを強くしています。



「あおすげ」完成式/テープカット



「あおすげ」完成式後の記念撮影

なお、始業式では「なぜ挨拶をするのか？」と投げかけました。私の答えを3つ話しました。ご家庭でも話題にしてみてください。

【1つ目】

ひと ころ

☆ **人と心を
つなげるため！**

- 世界にあいさつのない国はありません
- 人は、「なかま」とつながることができる生き物です
- 人は、ひとりでは、しあわせになれません

【2つ目】

おう えん

☆ **応援して
もらうため！**

- 応援団がふえて、たすけてもらえます
- 自分をたかめること（成長）ができます
- 幸せになります

【3つ目】

☆ **あかるいあいさつを
1番近くで聞いているのは…
1番よろこんでいるのは…**

- 自分の耳が「あかるいあいさつ」をきいています
- 自分の脳が「しあわせ」を感じています
- 自分もあいさつされた人も幸せになります

また、井野中学校区（井野中学校・小竹小学校・青菅小学校）で共通指導事項の一つ目が「挨拶」となっています。井野中学校区が、明るい挨拶の響く地域になるように、本校でも重点項目にしていまいます。ご理解とご協力をお願いいたします。